



2/11

コースを駆け抜け抜けタスキをつなぐ 第32回田原本町民駅伝大会



2月11日、「第32回田原本町民駅伝大会」が開催されました。コースは健民運動場を出発し、大和川沿いを巡る合計15キロ（小学生は13キロ）。参加した55チームの選手たちは7部門に分かれ、健脚を競い合いました。選手たちは号砲とともに一斉にスタート。沿道の温かい声援に励まされながら走り、懸命に次の走者にタスキをつなぎました。そして、全チームが力走し、見事ゴールしました。走り終えた後、選手たちはお互いの健闘をたたえ合ったり、田原本町赤十字奉仕団が振る舞う「やよい汁」を食べたりして、疲れた体を休めていました。

入賞チームの紹介

小学生男子の部

- ①南小
- ②長男S（ちょうなんズ）
- ③チーターズ

小学生女子の部

- ①よろしくチーム
- ②ミリオンズ
- ③復活の北小バタバタワンワンズ

中学生男子の部

- ①田原本北 陸上競技部 A
- ②田原本中 陸上部 A
- ③北中学校 野球部

中学生女子の部

- ①田原本北 陸上競技部
- ②北中学校バスケットボール部 A
- ③田原本中陸上部

高校生男子の部

- ①高等養護学校陸上競技部 A

②高等養護学校陸上競技部 B

③高等養護学校陸上競技部 C

一般男子の部

- ①奈良中央信用金庫 A
- ②オヤジーズ
- ③仁淀スターズ

一般女子の部

- ①高等養護学校陸上競技部有志の部
- ②もしもしカメよカメさんよ
- ③ジョーカーズ

ふるさと逸品の紹介

田原本町



- ▲いちご
- ◀柿の葉寿司



泉佐野市



- ▲泉州タオル
- ◀水ナス



2/14

ふるさと納税の返礼品を相互交流 泉佐野市と田原本町が「ふるさと逸品協定」を締結



▲協定を締結した千代松泉佐野市長と町長（左から）

大阪府泉佐野市と田原本町が「ふるさと逸品協定」を締結し、2月14日に協定締結式が行われました。それぞれのまちの特産品を「まちの逸品」として、ふるさと納税サイトを介して、お互いに広く発信しながら魅力をPRしていきます。

田原本町からは「いちご」「柿の葉寿司」、泉佐野市からは「泉州タオル」「水ナス」をまちの逸品と位置づけました。



南部環境開発(株)が本町に「ふるさと応援寄附金」として500万円を寄付されました。北川社長が3月6日に町役場を訪れ、森町長に寄附金の目録を贈呈。町長から感謝状が授与されました。北川社長は「地元のために使ってもらいたい」と話していました。

3/6

南部環境開発(株)が町へ寄付
地元貢献したい



コミュニティホールで、田原本小3年生が「活き粋サロンふれあいコスモス」の利用者と触れ合いながら昔の暮らしを学ぶ授業「昔を知ろう」が行われました。児童たちは、戦時中の満田、大阪での空襲の話聞いた後、それぞれ昔の暮らしについて知りたいことを質問しました。

2/14

小学生と高齢者の交流学習
昔を知ろう



たわらもとジュニアバンド「J-Wings」第4回発表会が弥生の里ホールで開催されました。卒団式を兼ねたこの発表会では「アラジンメドレー」など7曲を元気いっぱい披露。大きな拍手のなか、代表の山田雅彦さんから卒団証書が手渡され、小さな8人の音楽家が巣立っていきました。

3/8

ジュニアバンド「第4回発表会」
小さな音楽家8人が巣立つ



北小学校でICT活用教育の公開授業が行われました。町では、昨年12月から北小学校をモデル校として、タブレットなどを導入して授業の質を高め、学力向上を図るICT活用教育推進事業を始めています。この日は、5年生の算数でタブレットを使って分数について復習しました。

2/20

ICTを活用した公開授業
学力向上を図る



町内各幼稚園、小・中学校で卒園式・卒業式が行われました。田原本幼稚園では、28人がお祝いの言葉とともに園長先生から修了証書を受け取りました。卒園児たちは、幼稚園での思い出を述べ、卒園の歌を元気よく歌い、在園児や先生たちに見送られ、思い出の園舎を後にしました。

3/14~

幼稚園、小・中学校で卒園式・卒業式
思い出の園舎を後に



第45回J A 共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクールで文部科学大臣賞を受賞された谷口弘和さん(東小4年生)と、第46回同コンクールで文部科学大臣賞を受賞した梅本実佳さん(東小3年生)が、森町長を表敬訪問しました。

2/28

全国小・中学生ポスターコンクール
文部科学大臣賞受賞